

賣掛代金を

横領して逃走

平驛で捕はる
赤井村大字赤井生れ當時東京府
下南葛飾郡吾嬬町木炭商佐藤金
太郎方雇人鈴木春信(十三假名)
は主人の賣掛代金四十圓程を集
め横領して五日午前四時平驛に
逃げて来た處を平驛に捕はれた

大平町長

京都市行

勿來町長大平陸四郎氏は七日、
八日兩日京都市に開かるる全國
町長大會に出席のため五日午前
一時出發した。

滞納差押の

勿來町で
は本年度前期町税未納整理のた
め五日から財産差押の處分を開
始する。

清野女史

病院に寄附

平町南町平看護婦會長清野キヨ
女史は御大典記念として勿來町
隔離病舎備品中にテーブル及び
椅子を寄贈した。

青年訓練査閲

勿來
町青年訓練所では八日午前八時
から勿來尋常小學校庭で佐藤福
島聯隊區司令官の査閲がある。

小學校落成式

勿來
町小學校落成式は十二月上旬舉
行の筈で當日農産物品評會を開
催する。

師範生視察

本縣師範
學校男子生三十三名は四日勿來
尋常高等小學校を視察し五日は
授業振りを見學午後から内郷村

に赴いた。

西洋料理の拵方

イワキ食堂主
森川泰一郎

(一) スチウド・ポウク
材料拾人前に付

豚肉 參百匁
馬鈴薯 拾個
人参 五個
大參匙

鹽、胡椒
ドビグラス 參合

豚肉參百匁を參拾匁位の適
宜の大きさに切り、馬鈴薯は皮
を取り二ツ割位にし鹽水にて
洗ひ、人参はタワシにて克
く洗ひ、皮を取らず適宜に切
る、各一品宛バタ大匙にて
深鍋にていため、ドビグラス
參合、水壹合を入れ強火にて
煮立せ、浮上る泡をすくひ取
り、後ち弱火にて二時間煮て
鹽、胡椒にて味を付け、肉壹
切、馬鈴薯二切、人参二切の
割合にて盛り付けて供します

◎ドビグラスの拵方
材料拾人前に付
メリケン粉 大匙參杯
トマトソース液詰 二合
スープ又は水 一合

鐵鍋にバタ大匙を溶した中
へ、メリケン粉大匙を加へ
殆んど焦げ付く位の度合にい
ため、いためた中へトマトソ
ース二合を入れて、水かソー
プ一合も加へ、よく混ぜせな
がら拾分間位煮沸して、仕上
げます。

(注意) バタとメリケン粉をい
ためる時は本當に手に付きま
すと焦げ付く程あついですか
ら特に注意して下さい。そし
てトマトソース及びスープ類
を入れますと同時によく混ぜ
合せて下さい。

新築移轉御披露 (平町南町)

耳鼻咽喉科 専門

平町南町 電話一七〇番

大和田 耳鼻咽喉科 醫院

備完室病
りあ便の炊自

外 科 専門

花柳病科

平町六丁目橋際

木村外科醫院

電話三〇九番

セメント
壁用材料
コルタル
ペンキ塗料
板ガラ

磐城セメント株式會社
代理店 西村屋藥舖
平町二丁目
電話三番

電話開通披露

七五二番

平窪村辰ノ口本家

松本徳一

磐城共濟病院組織

本院醫事法制醫記法學士 岡 波

本院主事 賀 澤 忠 治 蕃 睦

◎御大典記念事業トシテ
一衛生試驗所(共濟病院内)十一月一日ヨリ開始
一病氣相談所(共濟病院内)十二月一日ヨリ開始
一救 療 所(共濟病院内)十二月一日ヨリ開始

電話六四一番 城 警 共濟病院
入院自炊ノ便アリ 看護婦見習募集

主任 醫學博士 難 波

內 科 小兒科 (院長毎日診療)

院 長 醫學博士 難 波

副院長 醫學士 五十嵐 雄 二

內科部長 醫學士 伊 吹 彪 二

外科部長 醫學士 鈴木 家 退 憲 二

外科内臟外科、整形外科、レントゲン科

毎日手術 醫學博士 鈴木 家 退 憲 二

産婦人科部長 醫學士 五十嵐 雄 二

産婦人科 女子泌尿科、レントゲン科

願 問 醫學博士 川 添 正 道 二

X 光線科

吉例年末謝恩第二回興行

新次郎大

◎史 劍 喜 大 作 特 超 活 日 大◎

當る六日より上映

▼主演 河部五郎、新妻四郎、酒井
米子、浦邊粂子、大河内傳次郎
葛木香一、外オールスタール總出演

第一 尊王の巻 全十
時世... 狗は二度吠くと唱ふ彌
次喜多は尊王の叫びがあつた。

第二 韋駄天の巻 全十
勸王士は新撰組と争つた... 彌
次喜多は韋駄天の如く...

第三 伏見鳥羽の巻 全十
戦争... 血煙慘状... 彌次喜多
は逆上して錦旗をひるがへした

席 普通 金十錢 平 館

二葉印刷所